

R P P Cメール

リサイクルポート推進協議会

第549号（平成26年10月 8日発行）

【今週号の主な内容】

■ 《今週の報道発表》

★平成26年度土壌汚染対策セミナーの開催について（環境省：H26.10.3）

■ 《RPPC事務局からのお知らせ》

1. 第1回 港湾・空港等リサイクル推進検討会の開催について
2. 汚染土壌事業化PT（WG）の開催について

■ 《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 三島川之江港リサイクルポートの動向
2. 地盤工学会、復興資材の有効活用ガイドラインまとめ
3. 国土交通省港湾局人事、海洋・環境課長に小谷野氏（10月1日付）

=====

《今週の報道発表》

1. 平成26年度土壌汚染対策セミナーの開催について（環境省：H26.10.3）

土壌汚染のリスクに関する理解の促進と円滑なリスクコミュニケーションの実施・普及を目的に本セミナーを開催いたします。

【開催日時・定員】

- （1） 鹿児島会場：平成26年11月27日（木）13:00～16:15 80名（先着順）
- （2） 徳島会場：平成26年12月4日（木）13:00～16:15 80名（先着順）
- （3） 埼玉会場：平成26年12月16日（火）13:00～16:15 180名（先着順）

【主催】

環境省、公益財団法人日本環境協会（土壌汚染対策法に基づく指定支援法人）

【後援（予定）】

一般社団法人日本経済団体連合会、一般社団法人土壌環境センター、開催県、開催市

【対象者】

企業・事業者、自治体、一般の方、土壌汚染に関する業務に携わる方

\* 詳細については下記H.P.よりご確認ください。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=18687>

=====

《事務局からのお知らせ》

1. 第1回 港湾・空港等リサイクル推進検討会の開催について

港湾・空港等整備におけるリサイクルガイドライン及び技術指針を改訂するにあたり、上記検討会が開催されます。

開催日時：平成26年10月28日（火）10:00～12:00

開催場所：経済産業省 別館 104号会議室

(当協議会会員からも代表者数名がオブザーバーとして出席する予定です。)

## 2. 汚染土壌事業化 PT (WG) の開催について

下記日時にて開催予定となっておりますのでご確認ください。

日時：平成 26 年 10 月 20 日 (月) 場所：みなと総研 3 階会議室

13:00~15:00 WG②及び⑥

15:00~17:00 WG③, ④

17:00~19:00 WG①

### 【事務局】

#### 1. 三島川之江港リサイクルポートの動向

愛媛県土木部港湾海岸課は、三島川之江港における平成 25 年のリサイクル関連貨物の取扱動向をまとめた。

それによると三島川之江港公共バース利用の再利用資材は移出 5233 トン、移入 44 万 1711 トンだった。移入が移出を大きく上回っており、三島川之江港でのリサイクル産業が活発化していることが判る。再生材は古紙、クズものなど。

また専用バースを通じた移入が 1420 トンあった。

このほか、スラッジや廃タイヤなどの廃棄物材を 13 万 9416 トン移出した。

愛媛県は製紙が基幹産業の一つになっており三島川之江港には大王製紙など国内有数の大手製紙会社が立地している。リサイクル関連事業として事業所から回収した古紙のリサイクル化が進む一方、それに伴い発生する「製紙スラッジ」の処理が大きな技術課題になっている。

同港は平成 18 年 12 月にリサイクルポートに指定されている。金子地区において水深 14m 岸壁が供用開始しており、25 年実績で古紙など約 98 トンが同バースを通じて海外に輸出されている。

### 【港湾空港タイムス】

#### 2. 地盤工学会、復興資材の有効活用ガイドラインまとめ

(公社)地盤工学会は 10 月 2 日、「災害廃棄物から再生された復興資材の有効活用ガイドライン」をとりまとめ発表した。安全性に留意しつつ災害廃棄物(津波堆積物を含む)の処理から得られた復興資材を、港湾施設や水面埋立など施設別に活用する方法を提示している。

同学会では今年 3 月に「災害からの復興における社会基盤整備への復興資材等の利用のあり方に関する提言」をまとめている。今回のガイドラインは同提言に基づき、分級土砂等を復興事業に有効利用するための技術的事項を示している。

様々な用途に有効活用する際の範囲、記録・保存、品質評価、環境安全性等の共通事項を提示するとともに、有効活用方法や参考とすべき技術指針等を示している。

### 【港湾空港タイムス】

-----  
3. 国土交通省港湾局人事、海洋・環境課長に小谷野氏（10月1日付）

国土交通省は10月1日付人事を発令した。港湾局関係では中野東北地方整備局副局長が退職し、東北地方整備局副局長に津田港湾局海洋・環境課長、海洋・環境課長には小谷野中部地方整備局港湾空港部長が就いた。

また池上関東地方整備局副局長が一般財団法人みなと総合研究財団に異動、後任の関東地方整備局副局長には下司港湾局技術企画課長、技術企画課長には浅輪北陸地方整備局港湾空港部長が就任した。

【港湾空港タイムス】

#####

発行者：RPPC 広報部会

部長：徳田 英司 新日鐵住金（株）

部会員：細貝 隆司 五洋建設（株）

堀江 良彰 東京都

加賀谷 聡一 （株）酒田港リサイクル産業センター

紫牟田 和隆 光和精鉱（株）

新谷 聡 りんかい日産建設（株）

リサイクルポート推進協議会事務局 一般財団法人みなと総合研究財団（内）

担当：本野、井手、榎並 URL：www.rppc.jp E-mail：rppc\_jimukyoku@wave.or.jp

※会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がございましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

※メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

#####